

セミナー企画書

山田真由子/山田真由子社会保険労務士事務所 代表

(電話) 090-8446-5514

(メール)officeyamada@nifty.com

【タイトル】

ハラスメントを防ぎ、“辞めない職場”をつくる指導とコミュニケーション

～部下が動き出す、正しい伝え方と関わり方の実務～

【参加者対象】

- 管理職・リーダー・班長
- OJT 担当者・後輩育成を担う職員
- 現場のコミュニケーション改善を求められている部門
- 離職防止・働き方改善を進めたい経営層

【参加者が得られるメリット】

- ▶ パワハラの線引きが明確になり、安全に指導できます。
- ▶ 誤解・萎縮を防ぐ「伝え方の基準」を習得できます。
- ▶ TWI の 4 ステップで“誰が教えても成果が出る”育成が可能になります。
- ▶ 部下の心理背景を理解し、関わりの失敗を減らせます。
- ▶ 困難場面での声かけ・対応方法が具体的に分かります。

【コンセプト・概要】

職場のトラブルの多くは、「伝える側の意図」と「受け取る側の理解」のズレから生じます。

特に、曖昧な指示、強すぎる言い方、“見て覚えて”に頼る育成、相手の心理への無関心は、ハラスメントの誤解・ミスの再発・離職の主要因です。

本研修では、① パワハラの線引き、② 認識のズレを防ぐ伝え方、③ TWI の教え方、④ 心理理解に基づく関わり方、⑤ 実務で再現できる対話技術を組み合わせ、現場でそのまま使える形に整理します。

目的は、“安全に教えられる”と“部下が動き出す”を両立するマネジメントを確立することです。

【内容】

（１）ハラスメントを防ぐための基礎

- ▶ ハラスメントの定義と判断基準
- ▶ 目的／方法／影響の３視点
- ▶ 指導が誤解される理由
- ▶ 【演習】職場の“あいまいな境界”を可視化する

（２）誤解・萎縮を防ぐ伝え方

- ▶ 指示が伝わらない理由
- ▶ 事実と解釈を分ける
- ▶ NG 表現／OK 表現の比較
- ▶ 【演習】“伝わっていない指示”の改善

（３）TWI に基づく実務的な教え方

- ▶ 属人化を防ぎ、誰でも教えられる手法
- ▶ 急所の伝え方
- ▶ 現場で使える教え方のポイント
- ▶ 【演習】４ステップを使った教え方ロールプレイ

（４）部下の心理変化を理解する

- ▶ 欲求→障害→不満の流れ
- ▶ 反発／逃避／萎縮のメカニズム
- ▶ 上司にできる４つの支援（障害除去・傾聴・発散支援・見方の整理）

（５）困難場面で使える対話技術

- ▶ 傾聴（聞く・訊く・聴く）の使い分け
- ▶ I（アイ）メッセージで感情を調整する
- ▶ DESC 法による建設的な要望伝達
- ▶ 【演習】難しい場面での声かけ練習

（６）行動に落とし込む

- ▶ 今日やめること／今日始めること
- ▶ 個人の改善計画づくり

所要時間：90 分～180 分程度（ご要望時間にあわせカスタマイズ可能）

参加特典：当日のセミナー資料（PDF 版）を希望者に進呈